



パパと一緒に料理たのしいな

12月11日、あじさい館で父子の料理教室「パパと一緒にクッキング！」を行いました。この講座は、男女共同参画事業の一環で、性別による固定的な役割分担意識を解消し、家庭生活への積極的な参加を進めることを目的に開催。北條千夏先生（市人材バンク登録）を講師に迎え、今年はピザ風の「ドデカパン」作りに父子でチャレンジしました。参加した親子からは、「さっそく家でも作ってみたいです」などの感想がありました。



優れた品質の栗が評価され受賞

12月13日、果樹栽培技術の向上を目的に開催された「令和4年度茨城県果樹生産力向上共励会（くり）」で、穴倉地区で栗を生産している3人が表彰されました。圓城寺泰喜さん（写真左）は農林水産大臣賞（1等）、柴田寿夫さんは茨城県知事賞（1等）、酒井誠さんは茨城県議会議長賞（2等）を受賞されました。圓城寺さんは「賞をいただけて、とても嬉しい。皆さんからの援助のおかげです」と受賞の喜びを話してくれました。



災害に強いまちづくりを進める

12月20日、「災害時における地図製品等の供給等に関する協定」を、㈱ゼンリンと締結しました。この協定は、災害時に活用するための住宅地図や防災業務に活用するための市内全域を収録した広域地図を無償で貸与していただけるものです。災害が発生した際、即時に最新の地図を利用できるため、迅速な災害対応が可能となります。市では、この協定に基づき、より災害に強いまちづくりを進めていきます。



「二酸化炭素排出実質ゼロ」に向けて

12月21日、「ゼロカーボンシティに向けたエネルギー地産地消に関する包括連携協定」を、霞台厚生施設組合とその構成4市町、日立造船㈱と締結しました。ごみ焼却熱で発電した電力の一部を、電力小売業者の日立造船㈱を経由し4市町へ供給することで、「ゼロカーボン」に関する施策の達成が期待できます。本市では庁舎などの公共施設で電力を使用予定で、組合全体で年間最大約3,260 tのCO2排出量削減が見込まれます。



市内企業と連携しキャリア教育を推進

1月26日、「教育支援に関する連携協定」を市教育委員会・市内13企業と締結しました。協定に基づき、市内小中義務教育学校で工場見学や職場体験、企業による出前講座などを行う「キャリア教育（一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育て、発達を促す教育）」を進めていきます。

【連携企業（五十音順）】

入江金属工業株式会社、株式会社eロボティクス茨城、オートリブ株式会社、クレハエクストロン株式会社、水郷つくば農業協同組合、タキロンシーアイシビル株式会社、株式会社出羽屋、東京製綱株式会社、東洋平成ポリマー株式会社、株式会社ひのでや、株式会社ポテトかいつか、株式会社丸木屋製作所、独立行政法人水資源機構霞ヶ浦用水管理所



市民の生命を守る「消防人」の誇りを胸に

1月7日、多目的運動広場と体育センターで「市消防出初式」を行いました。宮嶋市長が観閲する中で、消防団員や消防職員による人員服装点検、機械器具の点検などが行われました。式典では、酒井団長から「市民から信頼され、頼りにされる消防団となるべく、日頃の訓練に励み、複雑多様化する災害に対処できる知識と技術の習得に努めていきます」と力強いあいさつがありました。



科学から学ぶ世界の不思議

1月30日、霞ヶ浦南小学校児童クラブ1で、住友生命保険相互会社と放課後NPOアフタースクールによる教育プログラム「スミセイアフタースクール」が開催されました。テレビでも活躍する松延康先生による「いのちかがやくサイエンス」というテーマで科学実験を通じ、児童たちは命の大切さやすばらしさを学びました。「液体の色が変わって不思議だと思った」「学校ではやらないような実験で面白かった」と喜びの声がありました。

